

事務所名	中部	学校名	北上市立黒沢尻北小学校	TEL	0197-65-3313
------	----	-----	-------------	-----	--------------

英語に慣れ親しみ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする子どもの育成

【ねらい】

- 子どもたちが楽しみながら英語活動を行い、意欲を高める活動の工夫を図る。
- 教師が児童の英語を使おうとするモデルになるために、校内で共通理解を図った英語運用能力の向上に努める。

【具体的な取組】

1 意欲を高める活動の工夫

(1) 今年度の重点

昨年度の研究で成果が明らかになった3つの重点は、意欲を高める活動の工夫の大前提として継続することにした。

黒北小英語活動の3つの重点

- **題材の工夫** 子どもの興味・関心の広がり考えた題材の工夫を進める。
- **活動の繰り返しの工夫** 学年に応じた単語や表現を使い、繰り返し使われるよう活動を工夫する。
- **場の設定の工夫** 英語が必然性をもって使われる場の工夫を図る。

昨年度末の児童・保護者のアンケートの結果と昨年度の授業実践の課題から、次のことを確認した。

児童・保護者アンケート結果から

- 全学年で聞くこと（リスニング・ストーリー）を楽しんでいる児童が増えている。
- 「読むこと」「書くこと」がもっとできるようになりたいと感じる高学年の児童が増えている。

授業実践の課題とこれからの外国語教育の方向性から

- 増える時数や新しい教材に対応し、全学年を見通した年間指導計画を整理し改善する必要がある。
- 子どもたちの興味や思いに沿った題材作りや場に応じて自分で意思決定する活動を工夫したい。

そこで今年度は、意欲を高める活動の工夫について学年別に重点を決め、教師一人一人の授業力の向上を図った。

平成29年度の重点

- 低学年 **聞く意欲を高めるストーリーの工夫**
- 中学年 **他教科との関連を図った単元の工夫**
- 高学年 **「読むこと」「書くこと」を取り入れた単元の工夫**

(2) 各学年の実践

各学年一回ずつの全体研の時間を設け、子どもたちが意欲を高められる授業作りについて全職員で検討し、よりよい授業作りを目指した。

低学年 聞く意欲を高めるストーリーの工夫

1年生の実践 単元名「いろ」

すきな色の蝶になりたいと願う
お話 A Beautiful Butterfly

ストーリーに出てきた蝶に
自分の好きな色をぬろう

自分のカードを使って
カラーマッチングゲーム

集まった仲間と一緒に
カラーリング

導入では本の読み聞かせを行った。話に一定のパターンをもたせることで、「次は何色かな?」「何を食べてこの色になったのかな?」と予測しながら聞いていた。最後の色がない蝶の登場で「色をぬりたい!」という子どもの思いを引き出し、「What color do you like?」「I like ~.」の表現を使ったマッチングゲームにつなげた。

2年生の実践 単元名「どうぶつ」

注意深く聞いて判断する
キーアニマルゲーム

話す・聞く必然性たっぷりの
動物鳴き声当て!ルー

英語でやりとりして動物をゲット
動物園をつくろう

鳴き声を参加しながら聞こう
お話 FARM

校外学習で訪れた動物公園を題材にした。“～, please.” “Here you are.” の表現を使って1対1で友達とやりとりをし、自分だけの動物園を作るという活動を設定した。動物の名前や鳴き声を使ったゲームを行った後、動物や鳴き声が出てくるお話の読み聞かせを行った。日本と違う鳴き声を楽しそうに真似しながら聞いていた。

中学年 他教科との関連を図った単元の工夫

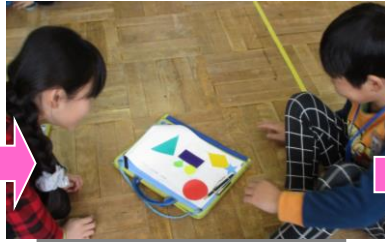
3年生の実践 単元名「形であそぼう」



繰り返し慣れ親しませるための
形ステップ



必要な形を伝え、聞く活動
形やさん



タングラムを作り作品を見せ合う
形であそぼう



どんな形かな？何の生き物かな？
お話 Shapes

算数「タングラム」と関連させ、目的の形を作るために“*What do you want?*” “*A big ~, please.*” の表現を使って必要な形を手に入れてタングラムを完成させる活動を設定した。読み聞かせでは、様々な形をした動物や虫が登場し、「どんな形かな？」という聞く視点を与えることで、「わかった！」「聞けた！」と意欲的に聞いていた。

4年生の実践 単元名「友達を案内しよう」



校外学習で人気だった場所も取り入れた
地図記号で単語練習



かかれた地図記号を当てよう
地図記号当てゲーム



聞く話す必然性がつまった
校外学習スタンプラリー



どんな順番で行ったかな？
お話 校外学習 Diary

社会の地図記号や校外学習で訪れた場所と関連させた単元を構想した。地図記号当てゲームや校外学習スタンプラリーの活動を通して、“*Where is ~?*” の表現や場所の名前を表す言い方に楽しみながら慣れ親しんでいた。お話で4つの場所を順に並び替える活動を取り入れることで、注意深く聞こうとする意欲を高めることができた。

高学年 「読むこと」「書くこと」を取り入れた単元の工夫

5年生の実践 単元名「夢の時間割を作ろう」



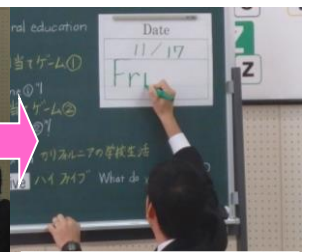
教科の英語を読んでみよう
キーサフジェクトゲーム



今まで学んだ表現を使って質問しよう
時間割り当てゲーム



他国の学校生活を比較して聞こう
“School Life In California”



曜日を英語で書いてみよう
英語を書き写そう

ゲームの際に文字カードを使い、スモールステップで自然に英語の文字を読む状況を仕組むことにより、楽しみながら文字に慣れ親しんでいた。毎時間の振り返りで教師とともに曜日を書き写す活動を設定することで無理なく慣れ親しめた。友達の時間割を当てる活動でこれまでに学んだ表現から自分で選択して質問したり答えたりする場を設定した。これまでの英語活動で触れた表現を使って積極的に英語でやりとりする姿が見られた。

6年生の実践 単元名「お気に入りの日を伝えよう」



文字カードを使って
キーマンスゲーム



友だちに英語を使って伝えよう
お気に入りの日を伝えよう



世界遺産に認定された日はいつかな？
お話 Hiraizumi



今日の月を英語で書いてみよう
英語を書き写そう

キーマンスゲームでは、文字カードを使って提示された月の名前を唱えさせた。毎日のちよこっと英会話も活用することで、自信をもって月の言い方や文字に慣れ親しんでいた。自分のお気に入りの日と理由を伝え合う活動を設定することで、友達に自分のことを知ってもらうために楽しみながら交流する姿が見られた。振り返りの時に授業日の月を書き写す活動を毎時間繰り返すことにより、よりスムーズに取り組みようになった。

2 英語運用能力向上の工夫

(1) 提案授業や講習会の実施

年度初めに、授業の基本的な流し方やクラスルームイングリッシュの共通理解を図るために提案授業を行った。また、ALTや英語専科によるアクティビティー講習会やクラスルームイングリッシュ研修会を行い、教師の英語を使おうとする意欲を高められるようにした。

(2) 校外の研修会への参加

北上市教育研究所「小学校外国語活動研修講座」や中部教育事務所「英語教育推進カスケード研修会」に参加し、様々な活動の体験を通して授業力向上とともに英語運用能力の向上を図った。また、北上市教育研究会の外国語活動部会で、本校の実践を他校に広げることと活動の改善を図ることを目的にアクティビティー研修会を行った。

(3) 他校への出前授業の実施

英語専科が他校の児童に出前授業を行い、その授業を基に他校の先生方と授業作りについて話し合うことができた。



【成果】

1 児童の意欲を高める活動の工夫に関わって

(1) 今年度の重点より

どの学年でも、活動に児童の思いをもたせる場を意図的に仕組むことによって、より意欲的に活動し、英語を使って生き生きと交流する姿が見られた。

低 聞く活動を高めるストーリーの工夫

- ストーリーを聞かせる活動を導入に行ったことで、やりたいという活動への意欲を高めることができた。その後の活動が一本につながる展開で、意欲を継続させることができた。
- ストーリーの中で題材の新たな単語を提示し、想像しながら聞く意欲を高めることができた。また、自然に外国との違いに気付かせることができた。

中 他教科との関連を図った単元の工夫

- 身の周りにある物や教科で学習した内容を扱うことで、子どもたちは題材への抵抗なく、スムーズに学習に取り組むことができた。
- 他教科で学んだことを英語で学習することで、改めて他教科の内容を楽しく習得できていた。また、英語をより身近に感じることができた。

高 「読むこと」「書くこと」を取り入れた単元の工夫

- 無理のない書く活動で書きたい意欲を高めることができた。振り返りカードを有効活用し、5年生は曜日、6年生は月を扱った。ローマ字連絡帳の指導の流れからも取り組みやすかった。4本線を使い、「Fは2階、yは地下。」というアドバイスをしながら教師と一緒に書かせることで、抵抗なく取り組んでいた。意欲が継続し、家庭学習でも取り組んでくるようになった。
- 読む活動がゲームの中で自然に楽しく組み込まれていた。文字をよく見て（読んで）活動する様子が見られた。

(2) 英語活動アンケート集計結果より

英語の授業は楽しいですか。(H29. 12)

	楽しい	どちらかといえば 楽しい	どちらかといえば 楽しくない	楽しくない
低学年	82%	16%	1%	1%
中学年	72%	25%	2%	1%
高学年	59%	34%	6%	1%

どの学年も9割以上の児童が英語活動を楽しいと感じていることが分かった。発達の段階を考慮した意欲を高める活動の工夫を図ったことで英語活動に意欲的に取り組む児童が増えたと考えられる。また、授業後には、担任間で子どもの様子を交流しながら振り返りを行い、子どもたちが意欲的に活動できるように改善を試みたことも効果に表れたと考えられる。

保護者アンケートより

- 英語活動があった日は、家でも私や兄に英語で話しかけてきます。楽しんでいるようです。(1年生母)
- ビッグブルズの試合の観戦に行った時に、外国人選手に進んで英語で話しかけに行く息子を見て驚きました。英語への抵抗感がないようでうれしく思います。(3年生母)
- 楽しく学習している様子が伝わってくるので「楽しい」と思えることが一番いいなと思います。分からなくても英語で伝えようとする意識が身に付いてきているのがすごいと思います。(6年生母)

2 教師の英語運用能力に関わって

- 研究授業で見られた教師の姿は、どの授業もHRTが目指したい姿だった。積極的に英語を使おう、英語で伝えようと努力する姿が見えた。担任にも日常実践で行っているちょっと英会話の成果を感じた。校内で共通理解を図ったクラスルームイングリッシュを使っているので余計な指示がなく、子どもたちにも分かりやすく、活動がスムーズに行うことができた。
- 市教研等で他校の先生方に本校の実践を紹介したことで、たくさんのご意見をいただいたり、資料や教材の情報交換を行なったりすることができた。また、出前授業を通して、本校の実践が他校の子どもたちも楽しみながら英語に慣れ親しめる実践だということが明らかになった。

授業を参観した先生方の感想より

- はじめて黒北小の英語活動を見て一番印象に残ったのは、教師も子どもも全員が笑顔で表情豊かだったことです。英語を積極的に話そうとする先生の姿勢を見習いたいです。
 - 先生の授業に向かう姿勢、英語にどうも苦手意識をもってしまう私ですが、先生のように頑張っていきたいと思いました。
 - 子どもをほめる視点や意欲を引き出す声かけなどを学ばせていただきました。自分の実践に生かしていきたいと思います。
 - 先生のテンポの良い授業展開と温かい言葉かけは、いつも素敵だなあと感じています。英語を使ってコミュニケーションをする素晴らしさを私自身も学びました。
- 授業研助言者の指導主事の先生から、「黒北小の英語の授業を観ると、毎回私も元気をもらいます。また、先生方の活発な研究協議も刺激を受けます。」というありがたいお言葉をいただいた。これからも子どもたちのために教職員が一丸となって楽しく仲良く前向きに取り組んでいきたい。